



選ばれし3成分で強力除草!!

ピラクロニル

ノビエを始め、広葉・カヤツリグサ科・SU抵抗性雑草にも幅広く、速効的に効く

イマズスルフロン

多年生雑草を始め、幅広い雑草に効果が高い

ブロモブチド

ホタルイに高い効果を示す

—— 雑草に速く幅広く効く!! SU抵抗性雑草に効く!! ——



ノビエ

2.5葉期



コナギ

2葉期



ホタルイ

2葉期



オモダカ

発生始期



無人ヘリコプター散布も可能!
(1キロ粒剤)



アゼナ

1対期



クログワイ

発生始期

移植水稲・直播水稲とも
水口施用ができます!



コウヤガラ

発生始期



アオミドロ

発生前

雑草写真	枯殺限界 葉令の イラスト
雑草名	パッチリの 枯殺限界葉令



田植同時
直播水稲
WCS用イネ

OK!

WCS用イネにも使えます!!

水稲用一発処理除草剤

パッチリ

1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ

特長

- ピラクロニルを含有し、ノビエを始めとして一年生雑草、多年生雑草まで幅広く高い効果を示す。
- 田植同時処理も可能。*1キロ粒剤、フロアブル
- SU抵抗性雑草にも高い効果を示す。
- 効果の発現が非常に速い。
- 温度による効果の変動が少ない。

適用雑草の範囲及び使用方法

バッチリ 1キロ粒剤 ■有効成分(一般名)ピラクロニル:2.0% イマズスルフロン:0.9% プロモブチド:9.0% ■人畜毒性:普通物* 登録番号 第22148号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ、シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回	田植同時散布機で 施用	2回以内	2回以内	2回以内
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布			
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲出芽始期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで						

バッチリフロアブル ■有効成分(一般名)ピラクロニル:3.7% イマズスルフロン:1.7% プロモブチド:16.3% ■人畜毒性:普通物* 登録番号 第22149号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ、シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500m ^l	1回	田植同時 散布機で 施用	2回以内	2回以内	2回以内
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			原液 湛水散布 又は 水口施用			
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲出芽始期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで						

バッチリジャンボ ■有効成分(一般名)ピラクロニル:5.0% イマズスルフロン:2.25% プロモブチド:22.5% ■人畜毒性:普通物* 登録番号 第22287号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ、シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (1パック) 10個 (400g)	1回	水田に 小包装 (1パック)のまま 投げ入れる	2回以内	2回以内	2回以内
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで						

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

使用上の注意事項

3製剤に共通する注意事項

- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用するには雑草の発生状況をよく観察し、時期を失わないよう適期に散布するよう注意してください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では葉害を生じることがあるので注意してください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けは正しい方法で行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に注意してください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、葉害を生じることがあるので使用しないでください。
- 著しい降雨が予想される場合は除草効果が低下するおそれがあるので散布を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄は、河川に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。

1キロ粒剤の注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお多年生雑草は生育段階によって効果がフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、ミズガヤツリは2葉期まで(但し、直播水稲栽培は1葉期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で、均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の葉菜にはかからないようにしてください。
- 本剤を無人ヘリコプターで散布する場合は、次の事項に注意してください。

- (1)散布は通常の使用基準に従って実施してください。(2)専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。(3)事前作業の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。(4)散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止

のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。

- (5)水源池、飲料水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 無人ヘリコプターによる散布を使用する場合は、飛散しないよう十分に注意してください。

フロアブルの注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ウリカワは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の葉菜にはかからないようにしてください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるよう散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

ジャンボ剤の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは2葉期まで、ウリカワは2葉期まで(但し、直播水稲栽培は発生始期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じてオモダカ、クログワイは有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用し、コウキヤガラ、シズイは有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(1パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 葉や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な葉害や効果不足を生じることがあるので使用を避けてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破損することがないように注意してください。

本資料の記載内容は2020年6月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届く所に置かないでください。★空袋、空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



JAグループ
農協 | 全農 | 経済連
全農は登録商標 第4702318号



協友アグリ株式会社
東京都中央区日本橋小網町6-1
https://www.kyoyu-agri.co.jp